

はじめに

皆様におかれましては、日々ご清祥のこととお喜び申し上げます。今年度も学校保健会の編集委員のご尽力によりまして、「いびの子のからだ」が編集刊行されました。

コロナ感染症も5類に移行し、コロナ以前の学校生活に戻りつつあります。しかしながら、まだまだインフルエンザ、コロナ、マイコプラズマ等々の感染症に注意が必要となっております。

令和6年にスポーツ庁が実施した小学生 98 万人中学生 87 万人の調査によりますと、体力合計点では中学校男子ほぼコロナ以前に戻りました。しかしながら、中学校女子、小学校男女ともに横ばいか低下しており、特に小学校女子では引き続き低下傾向にあります。さらにスクリーンタイムは全小中学校にて増加しております。さらにアンケートでは興味深い報告がありました。運動が好き、体育、保健体育が楽しいと回答する子どもたちは、体力合計点が高いとの報告があります。運動をいかに楽しく行うかが体力向上に役立つかを物語っております。幼児期からの運動習慣がその後の体力に影響します。

いびの子のからだは郡内の小中学校別の疾病、発育状況、体力テストなどの様々な事項がデータ化されております。関係者の皆様、ぜひこの貴重な資料を十分に活用していただきたいと思えます。そして、子どもたちの心身の健康発育に役立ててあげてください。

最後になりましたが、編集に携わっていただいた皆様に深く御礼申し上げます。

令和7年2月

揖斐郡学校保健会副会長 保坂 松治